

新スポーツ施設整備に向けた今後の取組みについて

1 供用開始までの主なスケジュール※¹（屋内スケート施設に係る現時点での想定）

令和8年度の基本計画策定後、設計、工事等の各工程を経て、最短で令和13（2031）年度下期の供用開始を目指す。

（PFI手法を導入する場合は、供用開始が1年半～2年程度遅れる見込み）



※¹ 詳細は、令和8年度に基本計画を策定する中で、専門事業者の支援を受け精査

※² 建設候補地は「山形城三の丸跡」内にあることから、埋蔵文化財に係る調査も実施予定

2 令和8年度 of 主な取組内容の詳細

(1) 基本計画の策定

新スポーツ施設整備検討会議を開催して御意見をお聴きしながら、技術的検討支援業務委託（令和7年度予算を繰越）により専門事業者の支援を受け、施設の機能や規模、運営方針、事業費、事業手法等を整理し、基本計画を策定

(2) 建設候補地に係る調査・計画

- 敷地測量（境界確認、敷地に係る図面の作成等）
- 土壌汚染状況調査に向けた計画策定（地歴調査）
- 新博物館と新スポーツ施設の配置環境基本計画の策定
新博物館と新スポーツ施設の同一敷地内での整備による課題を整理し、相乗効果が最大限発揮されるよう、調査、分析を実施
 - ・ 整備に係る法令・規制条件の整理
 - ・ 騒音、日照、電波障害等に係る周辺住民への影響調査
 - ・ 利用者動線、新博物館や付帯機能（カフェ等）も含めた施設の配置、交通量予測を踏まえた外構・駐車場の条件に係る検討 等
- 県民ふれあい広場周辺の未利用地の取得に向けた不動産鑑定